

## 株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、平素より当社グループの経営に一方ならぬご支援をいただき、心から御礼申しあげます。

会社発足以来、当社は「自主自立」「お客さま第一」「地域密着」を経営の原点に据えてまいりました。発足30年を迎えるにあたり、その原点を捉え直し、「横断的な重点課題」として「安全・安定輸送のレベルアップ」「収益力向上への挑戦」「コミュニケーションスローガン『TICKET TO TOMORROW』の推進」を掲げました。これらの課題を達成するため、グループ一丸となって取組みを加速し、鉄道や生活サービス、IT・Suicaの各事業を中心に様々な施策を展開します。

具体的には、グループ全体でのさらなる安全性の向上をめざし、より実践的な教育・訓練体制を構築するとともに、ホームドア整備や踏切事故対策、駅や車両等のセキュリティ向上、地震や豪雨等の自然災害対策などに取り組みます。あわせて、安定した輸送サービスの提供や異常時対応能力の強化など、輸送品質の向上に努めます。安全・安定輸送のレベルアップには、特に日々の点検など、基本的な業務・役割を確実に遂行することが不可欠であることは言うまでもありません。株主の皆さまやお客さまにご心配とご迷惑をおかけする輸送トラブルを発生させることのないよう、当社グループを挙げて取組みを徹底していく所存です。

その上で、拡充した鉄道ネットワークやクルーズトレイン「TRAIN SUITE 四季島」などをフルに活かし、インバウンドも含めた交流人口の拡大をめざします。また、千葉や渋谷、横浜などの大規模ターミナル駅開発や、日本の新しいゲートウェイとして品川での「まちづくり」などを着実に進めます。

さらに、「TICKET TO TOMORROW」のもと、働き方改革やダイバーシティ推進、技術革新等を通じて、全ての事業分野において仕事のレベルアップと生産性向上を追求し、質の高いサービスを提供していきます。あわせて、インド高速鉄道などのグローバルな事業にも挑戦することにより、当社グループの一層の成長を実現し、株主の皆さまのご負担に伝えてまいります。

株主還元につきましては、総還元性向33%を目標としており、引き続き、安定的な配当と柔軟な自己株式の取得に取り組みます。当期の中間配当につきましては、前期末に実施いたしました普通配当65円に5円を加え、一株につき70円といたしました。

株主の皆さまにおかれましては、当社グループの経営につきまして何とぞ一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申しあげます。

平成29年11月

代表取締役社長 富田哲郎

